

## 2025年度日本演劇学会全国大会タイムテーブル

会場：広島大学文学部（東広島キャンパス）

〈1日目〉 2025年6月21日(土)			
10:00	受付開始（文学部棟1階玄関ロビー）		
10:30-12:30	A会場(B204教室) パネルセッション1(開催校企画1)  演技者の「市民性」を育成する演劇とその可能性 —地域／社会の課題へのアプローチ—  有元伸子(広島大学名誉教授) 矢吹文乃(八戸工業高等専門学校) 大岡慎治(広島県立呉三津田高等学校) 戸田山みどり(八戸工業高等専門学校名誉教授)	B会場(B251教室) 研究発表① 司会:永田靖(大阪大学)  ①-1 浜田誠太郎(早稲田大学大学院生) 演出家が「間 naya」を指示すること: スタニスラフスキイの演出ノートを事例に	C会場(B153教室) 研究発表② 司会:岩井眞實(名城大学名誉教授)  ②-1 岡田登貴(大阪大学大学院生) 下間少進能型付の変遷から見えてくるもの —『炭蓮江間日記』と『少進能伝書』・『童舞抄』の比較—
(10:30-11:05)		①-2 松山立(日本大学) 俳優教育をめぐる演劇学校と大学の関係	②-2 児玉絵里子(京都芸術大学) 近世期芸能の踊衣裳と染織意匠 —若衆歌舞伎と「ゆきのふりそでちらちらと」—
(11:10-11:45)		①-3 藤崎周平(日本大学) リアリズム演技における感情の解釈	②-3 齋佳代子(城西大学) 戯曲家と演者の力学 —上演における幫間の表現から—
(11:50-12:30)			
12:30-13:30	昼休憩(60分)		
13:30-13:45	開会式（B204教室） 開会の辞:会長 小菅隼人(慶應義塾大学) 開催校挨拶:小林英起子(広島大学)		
13:55-14:55	特別講演（B204教室） 司会:小林英起子(広島大学) 山名淳(東京大学) 演劇が想起する—文化的記憶としての「あの夏の絵」と劇中証言		
15:10-17:10	A会場(B204教室) パネルセッション2  観光演劇学の創出に向けて  日比野啓(成蹊大学) 小畑克典(芸術文化観光専門職大学) 平田オリザ(芸術文化観光専門職大学)	B会場(B251教室) パネルセッション3  ドキュメンタリー演劇を／で学ぶ演技者  萩原健(明治大学) 川島裕子(関西大学) 佐藤信(演出家／鷗座主宰／若葉町ウォーフ代表)	C会場(B153教室) 研究発表③ 司会:阿部由香子(共立女子大学)  ③-1 周佳正(広島大学大学院生) 転換期と映画統制の間 —戦時下における久保田万太郎脚色『歌行燈』とその映画
(15:10-15:45)			③-2 大串雛子(明治大学大学院生) 岡田八千代の小説『お夏清十郎』とその劇化
(15:50-16:25)			③-3 川口典成(ドナルカ・パッカーン主宰／日本演出者協会理事) なぜ森本薰「女の一生」の初稿版は上演されないのか
(16:30-17:10)			
17:10-17:30	休憩・移動		
17:45-18:40	広島神楽鑑賞（サタケメモリアルホール） 鈴張神楽団(広島市安佐北区) 演目:土蜘蛛		
18:50-20:30	懇親会（学士会館 ラ・ボエーム）		

〈2日目〉 2025年6月22日(日)

9:00	受付開始 (文学部棟1階玄関ロビー)		
	A会場(B204教室)	B会場(B251教室)	C会場(B153教室)
9:30-11:30	パネルセッション4  早稲田大学演劇博物館所蔵資料からみる新劇と興行  赤井紀美(東北大学) 熊谷知子(早稲田大学演劇博物館) 藤崎景(明治大学大学院生) 児玉竜一(早稲田大学／演劇博物館館長)	研究発表④ 10:10開始 司会:細井尚子(立教大学)  ④-1 柏木純子(北翔大学) 19世紀フランスにおける芸能とパントマイムの交差—フェリックス・レガメ『閉じた瞳』(1895)を中心に—  ④-2 瀬戸宏(摂南大学名誉教授) 東アジアにおける近代劇形成の比較・状況整理	研究発表⑤ 司会:平川大作(大手前大学)  ⑤-1 垣沼絢子(立命館大学) ストリップ劇場をめぐる「芸術化」の一侧面 —衣裳製作者のインタビュー分析から—  ⑤-2 角田佑一(上智大学) 宝塚歌劇草創期における民俗芸能の導入 —バレエ『御田植』と歌劇『日本武尊』の研究—  ⑤-3 小田中章浩(大阪公立大学) カミーユ・ペペイと日本演劇
11:30-12:45		昼休憩 (75分) 理事会 (B201教室)	
12:45-14:35		総会 (B204教室)  河竹賞授賞式  受賞者挨拶 河竹賞:日比野啓『喜劇』の誕生 評伝・曾我廻家五郎』白水社 河竹賞奨励賞:垣沼絢子『近代日本の身体統制 宝塚歌劇・東宝レヴュー・ヌード』人文書院 河竹賞奨励賞:森本頼子『シェレーメーチェフ家の農奴劇場 18世紀ロシアのオペラ文化史』道和書院	
14:45-16:45	A会場(B204教室)  パネルセッション5(開催校企画2)  西洋演劇受容と演技者 —翻訳の役割と劇の創造をめぐって  小林英起子(広島大学) 中山智子(京都外国语大学) 樋口史都(広島大学大学院生) 溝渕園子(広島大学)	B会場(B251教室)  パネルセッション6  身体技法(メソッド)が育む民主性と集団性 —身体から舞台上演・ワークショップ・地域を考える  本橋哲也(東京経済大学) 塚本知佳(日本大学) 守屋慶二(俳優・身体トレーナー／拓殖大学第一高等学校演技講師) 竹内大樹(俳優・演出家／IWAMI ARTS PROJECT代表／しまねふるさと親善大使)	
16:45	閉会式 (B204教室) 閉会の辞:副会長 林公子(近畿大学)		